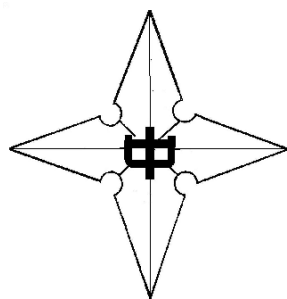


令和 7 年 度

南 浦 和 中 学 校 シ ラ バ ス

(学 習 案 内)



さいたま市立南浦和中学校

各教科の評価・評定について

1 観点別学習状況についての評価

- ・観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つです。
- ・毎学期、各教科の学習状況（授業・提出物・テストなど）を観点別に「A・B・C」の3段階で評価します。
- ・「A・B・C」は観点ごとの生徒の学習状況を次のように表したものです。

A：「十分満足できる」状況	B：「おおむね満足できる」状況	C：「努力を要する」状況
---------------	-----------------	--------------

2 評 定

- ・上記の「観点別学習状況についての評価」結果を総括したものを「評定」といいます。
- ・「評定」は「5・4・3・2・1」の5段階です。
- ・「5・4・3・2・1」は、各教科における学習目標の実現状況を次のように表しています。

5：「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
4：「十分満足できる」状況と判断されるもの
3：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
2：「努力を要する」状況と判断されるもの
1：「一層努力を要する」状況と判断されるもの

3 評定へのまとめ方【 全教科共通 】

- ・観点ごとの「A・B・C」の評価をもとに、次のように「5・4・3・2・1」の評定にまとめます。

観点別評価の組合わせ	評定
AAA	5
AAB	4
ABB・BBB・BBC	3
BCC	2
CCC	2または1

- ・3つの観点の重みに差はないので、「A・B・C」の順序は問題にしません。
- ・「ACB」は「BBB」とみなします。
- ・学年評定については、「AAA」で5または4の場合がある。

4 「総合的な学習の時間」および「道徳」の評価

- ・1年間の学習を振り返り、本校で設定した評価の観点に従って、年度末に文章で記述します。

国語科 シラバス

<第1学年 学習到達目標>

【知識及び技能】

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力】

筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。

【学びに向かう力、人間性】

言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

<第2学年 学習到達目標>

【知識及び技能】

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力】

論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性】

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

<第3学年 学習到達目標>

【知識及び技能】

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性】

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

<評価について>

国語科の授業では、3観点について1～3を組み合わせて評価をします。

1 授業中の活動の評価

学習に向かう姿勢や発言の内容などから評価をします。また、スピーチや話し合い活動などの様子も評価します。

2 学習の成果物や提出物

授業の中で制作した作品や、書き込んだワークシート、また、ワークブックやまとめのプリントなどの学習状況を確認し評価します。

3 各種テストによる評価

定期テストや小テストなどの結果から学習の到達状況を評価します。

<第1学年>

学期	学習のねらい	単元名・教材名	学 習 内 容	チェック
1 学 期	・詩の表現方法から作者の思いについて考えます。 ・物語と小説の構成や展開の違いについて考えます。 ・文章の構成を捉えて要約に生かします。 ・漢字と仮名の調和を考えて書きます。 ・文章、段落、文、文節、単語という単位について学習します。 ・読書の世界を広げます。	ふしぎ 桜蝶 ベンチ 聞くということ 自分の脳を知っていますか 硬筆 言葉の単位(文法)	・詩のリズムに注意した音読の仕方 ・表現技法(倒置法など) ・心情や主題の読み取り ・文章の構成、展開 ・筆者の考えとその根拠 ・楷書の書き方 ・言葉の種類や用法 ・本や文章からの情報収集	
2 学 期	・古典作品のおもしろさを味わいます。 ・古文の仮名遣いに慣れます。 ・古典文学に親しみます。 ・故事成語の由来や意味を学習します。 ・表現の特徴や効果について考えます。 ・筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながらかえをまとめます。 ・主語、述語、修飾語など文の成分の役割について学習します。 ・場面と人物の対応を捉えて読みます。 ・行書の点画の筆使いと字形を理解して書きます。	昔話と古典一箱に入った桃太郎— 物語の始まり(竹取物語) 故事成語 オツベルと象 森には魔法つかいがいる 文の成分(文法) 河童と蛙 毛筆(書きぞめ)	・古典作品との出会い ・伝統文化への興味、関心 ・歴史的仮名遣い ・古文のリズム ・冒頭部分の暗唱 ・日常生活の中の故事成語 ・漢文の基礎知識 ・人物像の読み取り ・表現の特徴や工夫とその効果 ・論理の展開の仕方 ・筆者の考えの要約 ・主語、述語、修飾語などの役割 ・情景の読み取り ・表現技法 ・行書の書き方 ・筆使い	
3 学 期	・言葉の書き分けに注目して、分かることを考えます。 ・作品が提起していることについて話し合います。 ・自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について学習します。 ・文章の構成や表現の特徴を捉えて読みます。 ・筆者のものの見方や考え方を捉えます。	少年の日の思い出 単語のいろいろ(文法) 子どもの権利 言葉がつなぐ世界遺産	・感想の書き方 ・心情と主題の読み取り ・文章表現(比喩表現) ・登場人物の整理、比較 ・品詞のはたらき ・文章構成、展開 ・表現の仕方の工夫 ・筆者のものの見方・考え方 ・要約 ・自分の考えのまとめ方	

<第2学年>

学期	学習のねらい	単元名・教材名	学 習 内 容	チェック
1 学 期	・詩を読んで情景を想像するとともに、表現の特徴を学びます。 ・描写の効果や登場人物の言動の意味に注意して、文学作品を読み深めます。 ・似た形やまちがえやすい漢字の理解を深めます。 ・活用のない自立語を理解します。 ・説明的文章を読んで、例示の効果について考えます。 ・文章の構成や展開の特徴について、根拠を明確にして、自分の考えをまとめます。 ・漢字と仮名の調和を振り返り、配列を考えて書きます。	虹の足 タオル まちがえやすい漢字 言葉のきまりの学習① 活用のない自立語 日本の花火の楽しみ 夏の葬列 硬筆	・詩のリズムに注意した音読の仕方 ・表現技法 ・心情と主題の読み取り ・登場人物の整理、比較 ・漢字の構成や意味 ・活用のない自立語の種類や用法 ・文章の構成 ・例示の効果 ・情景や人物描写 ・表現技法やその効果 ・根拠を明確にした文章表現 ・漢字と仮名の調和 ・配列	
2 学 期	・古典のことばの響きやリズムなどに注意して朗読します。 ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像します。 ・漢文の響きやリズムなどに注意し、朗読します。 ・近代文学の魅力に触れます。 ・活用のある自立語を理解します。 ・文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして、自分の考えをまとめます。 ・行書の特徴を理解し、読みやすく書きます。	敦盛の最期 随筆の味わい 孔子の言葉 坊っちゃん 言葉のきまりの学習② 活用のある自立語 水の山 富士山 ガイアの知性 毛筆(書きぞめ)	・作者と作品 ・歴史的仮名遣い ・暗唱(冒頭部分) 朗読 ・筆者と作品 ・情景や心情の読み取り ・二つの作品の読み比べ ・漢文の訓読 ・朗読 ・自分の考えの形成 ・文学作品の味わい方 ・読書計画 ・用言の活用、活用の種類 ・文章構成、表現の仕方 ・二つの文章の読み比べ ・根拠を明確にした文章の形成 ・行書の特徴	
3 学 期	・「学ぶ力」という問題提起について自分の考えをもちます。 ・付属語を理解します。 ・登場人物の心情や言動を捉え、人間の生き方について考えます。	学ぶ力 言葉のきまりの学習③ 付属語 走れメロス	・文章構成や展開 ・表現の特徴 ・立場を明確にした文章表現 ・助詞の種類、用法 ・助動詞の種類、活用 ・情景や心情 ・登場人物の人物像 ・主題の読み取り	

<第3学年>

学期	学習のねらい	単元名・教材名	学 習 内 容	チェック
1 学 期	・詩に描かれた「気持ち」と比較しながら自分の気持ちを見つめます。 ・作者の思いを想像します。 ・文章の種類と特徴について理解を深めます。 ・付属語を理解します。 ・漢字と仮名の調和を振り返り、配列を考えて書きます。 ・現代文学のおもしろさに触れます。 ・筆者の考えと具体例の関係を読み取り、文章の構成をとらえます。	春に 立ってくる春 なぜ物語が必要なのか 付属語 硬筆 私 メディア・リテラシーはなぜ必要なのか？	・表現の特徴をとらえた朗読 ・内容の読み取り ・随筆の読み方 ・助詞の種類、用法 ・助動詞の種類、活用 ・行書の特徴 ・文章の構成、要旨 ・筆者の意見の読み取り ・論理的文章の読み取り	
2 学 期	・筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをまとめます。 ・情報をもとに自分の意見を持ちます。 ・俳句と俳文が並んでいる効果を考え、筆者の思いをとらえます。 ・言葉にこめられた作者の思いを考えながら歌や詩の意味を考えます。 ・行書の特徴を理解し、読みやすく書きます。	AIは哲学できるか async－同期しないこと 問いかける言葉 旅への思い 芭蕉と「おくの細道」 和歌の調べ（万葉・古今・新古今） 風景と心情 漢詩を味わう 毛筆（書き初め）	・事例や筆者の主張の読み取り ・考えの組み立て ・意見の発表 ・冒頭文の暗唱 ・歴史的仮名遣い ・古文のリズム ・和歌の音読 ・内容の読み取り ・漢詩のリズム ・行書の特徴	
3 学 期	・読んで印象に残ったことや感じたことをまとめ、発表します。 ・主人公にとって「故郷」の意味を考え、それに対する考えを持ちます。 ・自分の経験や知識を整理して考えをまとめます。	故郷 スピーチで学びを振り返る	・登場人物の心情と主題の読み取り ・自分の考えのまとめ方 ・効果的な言葉の使い方 ・自分の考えのまとめ方と伝え方	

社 会 科

1. 学習の目標

- ・広い視野を持って、社会に関する関心を高めよう。
- ・さまざまな資料を活用して、いろいろな面、いろいろな角度から物事を考えよう。
- ・日本の歴史や現在の様子について理解と愛情を深めよう。
- ・参政権をもつ人としての基礎的な教養を身につけよう。
- ・平和で民主的な国際社会づくりに貢献できる人として必要な力を育てよう。

2. 学習の方法

(1) 意識してほしいこと

世の中は常に変化しています…特に今はグローバル化が進んでいて、世界で活躍できる人材が求められています。



- ①普段から世の中の動きを敏感にとらえるようにしましょう。(新聞・ニュース・授業)
- ②「いつ・どこで・誰が(何が)・何を・どのように・なぜ・その後は…」と常に疑問をもって物事を見るようにしましょう。(真実・物事の根本が見えるようになるはずです。)
- ③疑問に思ったことなどを自分で調べ、自分なりに公正な考えをもち、行動できるようにしましょう。

(2) 家庭学習において

- ①社会の授業があった日には、教科書やノートなどを見直して、「今日の授業の中で一番大切なことは何か」「(少しでも) わからないことはないか」などを考えたり、確認したりしながら復習をしましょう。
- ②授業で行った作業などが未完成のときは、必ずその日のうちに完成させましょう。
- ③授業の中で、もう少し詳しく知りたい、調べたいことがあったら、資料集などで確認し、それをノートまために盛り込んでみましょう。
- ④テスト前の家庭学習は…
 - ・教科書、ノート、資料集などを見直しましょう。
 - ・重要と思われる語句などをノートに書き出しましょう。
 - ・配付されたプリントなどを活用しましょう。

3. 学習の内容

《第1学年(年間105時間)》

【地理的分野】

第1編 世界と日本の姿

第1章 世界の姿

第2章 日本の姿

第2編 世界のさまざまな地域

第1章 世界各地の人々の生活と環境

第2章 世界の諸地域

【歴史的分野】

第1章 歴史へのとびら

第2章 古代までの日本

第3章 中世の日本

《第2学年（年間105時間）》

【地理的分野】

第3編 日本のさまざまな地域

第1章 地域調査の手法

第3章 日本の諸地域

第2章 日本の地域的特色と地域区分

第4章 地域の在り方

【歴史的分野】

第4章 近世の日本

第5章 開国と近代日本の歩み

《第3学年（年間140時間）》

【歴史的分野】

第6章 二度の世界大戦と日本

第7章 現代の日本と私たち

【公民的分野】

第1章 現代社会と私たちの生活

第2章 個人の尊重と日本国憲法

第3章 現代の民主政治と社会

第4章 私たちの暮らしと経済

第5章 地球社会と私たち

終章 より良い社会を目指して

4. 評価について

（1）評価の観点

①基礎的・基本的な「知識・技能」

社会的な事柄についての基本的な知識を身につけているかや、適切な資料を効果的に活用し、工夫してまとめることができるかなどの基本的事項が習得できているかを見ます。

②社会的な見方・考え方を働かせた「思考・判断・表現」

社会的な事柄について、さまざまな見方や考え方ができるか、公正に判断して適切に表現できるかを見ます。

③「主体的に学習に取り組む態度」

自らの学習を調整しようとしながら粘り強く取り組んでいるかや、主体的に社会にかかわろうとする態度があるかを見ます。

（2）評価の方法

①3つの観点それぞれをA～Cの3段階で評価し、これに基づき5～1の5段階で評定します。

②学習に向かう姿勢や発言の内容、提出物、定期テスト、授業用ノート、ワークシート、レポートなどを組み合わせて総合的に評価します。

「数学」シラバス

(1) 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- ②数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

(2) 学習の方法

- ①授業を充実させましょう。話を聞く時間、課題に対して考える時間、自力で問題解決をする時間、学び合う時間などメリハリをつけて取り組むことが大事です。また、持ち物は忘れないようにしましょう。
- ②数学の楽しさやよさを実感できるように意識しましょう。数学の学習は問題解決までのすじ道を順序を立てたり根拠を明らかにしたりしてある1つの結果を導き出す学習です。解決方法が複数であったり、より簡潔であったりすることも面白さにつながります。色々な考え方・見方を身に付けましょう。
- ③自分の力で挑戦しましょう。例題や他人の解いた様子を眺めているだけでは数学的な能力は身に付きません。本当に理解したのかを把握するためにも、必ず自分で問題解決に臨んでみましょう。また、一度解けただけでは身に付きません。問題解決の流れを繰り返し練習していきましょう。そのきっかけとなる宿題は必ず期限を守って提出できるようにしましょう。
- ④わからない問題にも粘り強く取り組みましょう。答えが出なかったとしても、解くために考えた過程は無駄になりません。自分の解決までの過程を見つめ直し、よりよい解決方法を見いだしていくことが本当の学習であり、本当の能力を伸ばすことにつながります。どうしてもわからない問題は質問に来るようにしましょう。

(3) 学習の内容

	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用
第1学年	正の数・負の数 文字を用いた式 一元一次方程式	平面図形 空間図形	比例、反比例	データの分布の傾向 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味
第2学年	文字を用いた式の四則計算 連立二元一次方程式	基本的な平面図形と平行線の性質 図形の合同	一次関数	データの分布の比較 場合の数を基にして得られる確率
第3学年	平方根 式の展開・因数分解 二次方程式	図形の相似 円周角と中心角 三平方の定理	関数 $y = ax^2$	標本調査

(4) 評価について

観 点	
知識・技能	・数量や図形等に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解している。 ・事象を数量や図形などで数学的に表し処理する。
思考・判断・表現	・事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現する。 ・考察過程をふりかえって考えを深める。
主体的に学習に取り組む態度	・学習内容に関心をもち、自ら課題に取り組もうとする。 ・数学的な事象に関心をもつ。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり判断しようとしたりする。

- ・3観点をそれぞれ A・B・C の3段階で評価し、これに基づき5・4・3・2・1の5段階で評価に総括します。
- ・テストの点数をベースに、ワークやドリルなどの提出物、ノート、授業プリント、学習に向かう姿勢や発言の内容などを組み合わせて評価します。

【理科】シラバス

1. 学習の目標

- (1) 身近な自然の事物や身の回りの現象に興味や関心を高めていき、意欲的に自然を調べる態度を身に付ける。
- (2) 問題解決に向けて目的をもって観察・実験を行い、科学的に調べる能力（課題を見つけ、観察・実験を行い、課題を解決していく力）や態度を育てる。
- (3) 身近な自然の事物や身の回りの現象について理解を深める。
- (4) 身近な自然の事物や身の回りの現象について科学的に見て考える力を養う。

2. 学習の方法

- (1) 自然に対する興味・関心が理科の学習の出発点であり、最後のねらいであるといえます。自然のさまざまな事象に対して「なぜだろう」「どうなっているのだろう」という疑問を大切にし、それらを探求しようとする意欲をもって学習にのぞみましょう。
- (2) 自然から直接学ぶことが理科の学習の特色です。このため、理科の授業では観察や実験が重視されます。
- (3) 板書をノートに写すことは大切ですが、板書だけでは理解は難しいです。必ず、板書のあとの説明を聞き、理解につとめましょう。分からないことは、放っておかず、先生に聞くように心がけましょう。
- (4) 50分集中力を持続することは難しいです。メリハリをつけて、ゆるめるべき時はゆるめ、集中する時は集中することが大切です。
- (5) 提出物（実験プリントやワーク等）の提出期限は、必ず守るようにしましょう。

3. 学習の内容

【1年】

いろいろな生物とその共通点	身の回りの物質	身近な物理現象	大地の成り立ちと変化
・自然の中にあふれる生命 ・植物の特徴と分類 ・動物の特徴と分類	・いろいろな物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化	・光による現象 ・音による現象 ・力による現象	・身近な大地 ・ゆれる大地 ・火をふく大地 ・語る大地

【2年】

化学変化と原子・分子	生物の体のつくりと働き	気象とその変化	電流とその利用
・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量	・生物の体をつくるものの植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ	・地球をとり巻く大気のようなもの ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界

【3年】

生命の連続性	化学変化とイオン	地球と宇宙	運動とエネルギー	自然と人間
・生物のふえ方と成長 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化	・水溶液とイオン ・電池とイオン ・酸、アルカリと塩	・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	・力の合成と分解 物体の運動 ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり ・エネルギー資源とその利用	・自然界のつり合い ・さまざまな物質の利用と人間 ・科学技術の発展 ・人間と環境 ・持続可能な社会をめざして

4. 評価について

(1) 評価の観点

観 点	摘 要
知識・技能	・基本的な言葉の意味を説明することができる。 ・基本的な事象について、例をあげて説明することができる。 ・法則や規則性について、説明することができる。 ・測定器具を用いて、量を正確に測ることができる。 ・安全に配慮して器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。 ・計画的に観察・実験を行い、記録をまとめることができる。 ・グラフ・表などを用い、正しく測定値を処理できる。
思考・判断・表現	・仮説を立て、それを解決するための実験方法を考え出すことができる。 ・観察・実験の結果から、規則性を見いだすことができる。 ・関連する2つの事柄について、その関係を説明することができる。 ・関連する事柄について、その共通点や違いを説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・学習内容に関心をもち、主体的に課題に取り組もうとする。 ・自然に対して興味・関心をもつ。 ・自然の事物・現象について疑問をもったり不思議に思ったりした点について調べようとする。 ・自分の考え・意見を発表することができる。

(2) 評価の仕方

3観点をそれぞれA・B・Cの3段階で評価し、これに基づき5・4・3・2・1の5段階で評定します。

(3) 具体的な評価の方法

学習に向かう姿勢や発言の内容、観察・実験への取り組み、発言の様子、提出物、定期テスト、授業用ノート、ワークシート、観察・実験レポート等を組み合わせて評価します。

音 楽

1 音楽の学習目標（お互いに思いを伝え合い、楽しく音楽と関わろう）

- ・響かそう → 一人ひとりの歌声の特徴を知り、その良さを生かし、より豊かな声で歌おう
- ・届けよう → 音楽の表現方法を工夫して、その音楽の良さを聴き手に届けよう。
- ・伝えよう → 様々な音楽の特徴を感じ取り、その良さや面白さを自分の言葉で表現し、伝えよう。

2 音楽の授業への取り組みについて

・自ら進んで、積極的に音楽活動に取り組もう。	意欲的に取り組むことで充実した音楽活動ができます。
・声量豊かな声をめざし、大きな声で歌おう。 ・南浦和中学校校歌を大きな声で歌おう。	正しい発声方法を身につけ、声量豊かに歌おう。 より多く、音楽に心を動かされる体験をしよう。
・音楽の表現方法について語り合い、お互いの仲間意識を高めながら、音楽活動を行おう。	その音楽の特徴について、お互いに意見を交わし、その音楽の良さを共有しながら音楽活動を深めよう。
・気持ちを集中させて音楽を感じ取ろう。 ・その音楽のもっている魅力を体感しよう。	聴く「耳」はもちろん、目や心もしっかりと集中させて音楽を全身で感じ取り、その面白さを味わおう。

3 音楽の用意 **教科書 音楽ファイル 合唱曲集 アルトリコーダー 筆記用具**

＊上記の道具を各自の手持ちの袋（通称音楽バック）に入れて音楽室に来てください。

音楽の道具は、教室のロッカーで保管して結構です。（学期末には、必ず家に持ち帰って下さい）

＊アルトリコーダーは、1年生の1学期中に、購入予定です。後日お知らせいたします。

4 授業時における活動方法

- ① **歌唱活動** → その場で起立し、ピアノ伴奏、CD 伴奏またはア・カペラで、全員で歌います。
各自良い姿勢、正しい発声方法で歌ってください。
- ② **合唱活動** → 合唱コンクールに向けての活動を含みます。CD やピアノを使ってパート練習、及び合唱練習を行います。歌い方について話し合いをする等、主体的に活動します。
- ③ **器楽活動** → アルトリコーダー等の器楽学習は、主に器楽の教科書を使い各自で練習します。
- ④ **鑑賞活動** → CD または DVD で音楽鑑賞を行います。感じたことを感想用紙にまとめ、発表します。
- ⑤ **創作など** → リズムや簡単なメロディを創作します。班ごとに発表します。

5 評価について

それぞれの観点	観点の具体的基準	観点の評価方法
知識・技能	・曲想、音楽の構造、歌詞の内容を理解している。 ・創意工夫するための音楽表現に必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	・鑑賞記録 ・活動の様子
思考・判断・表現	・音楽を形作っている要素や、その要素同士の関連を知覚し、それを感じ取ったことを創意工夫して表現できる。	・鑑賞記録 ・活動記録
主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・提出物 ・活動の様子・記録 ・自己評価

6 主な授業内容について

期	1 年生	2 年生	3 年生
1 学 期	・オリエンテーション ・新しい仲間とともに、のびのびと校歌を歌おう		
	・のびのびと歌おう ⑧ 光の道 ⑧ 夢の翼 ・日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう ⑨ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう ・弦楽器の音色に親しもう ⑧ 「春」第1楽章 ・日本の歌に親しみ、表現を工夫しよう ⑧ 夏の思い出 ⑧ 赤とんぼ ・リズムを楽しもう ⑨ くいしんぼうのラップ ・詩と音楽との関わり合いを感じ取ろう ⑧ 魔王	・歌詞の内容を味わい、表現豊かに歌おう ⑧ 生命が羽ばたくとき ・音楽の仕組みを理解しよう ⑧ 交響曲第5番ハ短調「運命」 ・リコーダーで表現を工夫しよう ⑧ アメージンググレース、故郷 ・リズムの違いを感じながら、リズムパターンをつくろう ⑨ リズムパターンをつくろう	・歌詞が表す情景や心情を想像し、曲想を味わいながら、表現を工夫して歌おう ⑧ 花、荒城の月 ・リズムの重なりを味わおう ⑧ ジョイフルコンビネーション ・オーケストラによる音楽表現を感じよう ⑧ ブルタバ、展覧会の絵 ・器楽アンサンブルを楽しもう ⑧ 木星、メヌエット
2 学 期	・合唱コンクール曲を聴き、各学級の演奏曲を決めよう（1学期中に指揮者・伴奏者も決定する）		
	・混声合唱の響きを味わおう（合唱コンクールに向けての取り組み） ⑧ 各学級の自由曲 拡充授業 合唱コンクールに向け、話し合い活動を行いながら、学級が一丸となって音楽室、教室、体育館で合唱活動を行う。		
	☆令和7年度校内合唱コンクール 令和7年10月17日（金）レイボックホール 大ホール		
3 学 期	・和楽器に親しもう ⑧ 箏曲「六段の調」 ⑧ 平調子の調弦 ⑧ さくらさくら ・民謡の特徴を理解して歌おう ⑧ ソーラン節 ・アルトリコーダーを吹こう ⑧ 喜びの歌、オーラリー、うみ	・雅楽の多様な表現を鑑賞しよう ⑧ 雅楽「越天楽」 ⑧ 雅楽「左舞・右舞」 ・和楽器に親しもう（箏学習） ⑧ 平調子の調弦 ⑧ 「荒城の月」 ・構成を理解して鑑賞しよう ⑧ ボレロ、火星	・歌舞伎に親しもう ⑧ 勧進帳 ⑧ 文楽「義経千本桜」 ・構成を工夫して音楽をつくろう ⑨ CMソングをつくろう ・舞台芸術を鑑賞しよう ⑧ アイダ
	・日本とアジアの声によるさまざまな表現を鑑賞しよう ⑧ 天台声明、ケチャ 他 ・リズムの重なりを楽しもう ⑧ ジョイフルコンビネーション ・気持ちを込めて表現しよう ⑧ 卒業式歌、校歌、君が代 ・1年間の復習をしよう	・曲にふさわしい表現を工夫しよう ⑧ 浜辺の歌、早春賦 ・郷土の芸能を鑑賞しよう ⑧ 鹿踊、獅子舞 ・気持ちを込めて表現しよう ⑧ 卒業式歌、校歌、君が代 ・1年間の復習をしよう	・気持ちを込めて表現しよう ⑧ 卒業生の歌 ⑧ 卒業式歌、校歌、君が代 ・1年間の復習をしよう

※⑧＝歌唱、⑨＝器楽、⑩＝鑑賞、⑪＝創作

※授業内容は変更となる場合があります。

【 美 術 科 】

1 美術科の学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わおう。

美術を愛好する心情を育て、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな心を育もう。

2 学習の方法

- ・忘れ物せず、必要な画材や用具の準備と片付けを速やかに行って、メリハリある授業にしましょう。
基本的な持ち物…教科書、美術ファイル、筆記用具、美術資料集、
指示がある場合の持ち物…PC、12 色色鉛筆、粘土制作に必要な道具、絵の具セット、彫刻刀等
- ・制作の手順や大切なポイントをしっかりと聞き、積極的に授業に取り組みましょう。
- ・アイデアは自由で豊かな発想を大切に、アイデアを広げたり深めたりする工夫をしましょう。
- ・必要に応じてタブレットを活用しましょう。模倣ではなくオリジナルの作品にするためのヒントとなるよう使用しましょう。授業での破損がないよう、扱いには十分気を付けて使用してください。
- ・作品制作の時間は私語を慎み集中して取り組みましょう。作品は授業時間内で完成させ提出します。
- ・制作の中で感じた工夫・発見・課題・反省を美術学習カードに書き留め、次の授業に生かしましょう。

3 学習内容 ※「 」内は学習予定の題材名、教科書との関連等

	1 年生（年間 45 時間）	2 年生（年間 35 時間）	3 年生（年間 35 時間）
1 学期	・オリエンテーション ・スケッチの基本 「見つめると見えてくるもの」 ・美術バッグ制作 「広がる模様の世界」	・オリエンテーション 「2 年生、いまのわたし」 ・木彫による立体制作 「幾何学模様からイメージを広げて」	・オリエンテーション ・願いと祈りの造形～仏像物語～ 「仏像に宿る心」 ・私との対話 「今を生きる私へ」
2 学期	・レタリング 「ネームプレートデザイン」 ・粘土による立体制作 「南中こびと大図鑑」	・一点透視図法 「ルネサンスが目指したもの」 「私の理想の部屋」	・立体作品制作 「心のイメージを形に」 「感じるままに彫ろう磨こう マイストーン」
3 学期	・ランプシェード制作 「1 枚の紙から広がる世界」	・水墨画 「美しい墨の世界」	・卒業記念制作

4 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の対象となるもの	・作品 ・ワークシート ・制作や活動の様子	・作品 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・美術学習カード ・制作や活動の様子等	・作品や提出物の提出状況 ・美術学習カード ・制作や活動の様子等

※定期テストは行いません。毎時間の授業や作品制作、プリント等にとしっかりと取り組んでください。

【保健体育科】

1. 学習の目標

- 運動量を確保しながら、体力向上を目指し学習規範の確立を図ろう。
- 運動の特性や保健分野における知識理解を高めよう。
- 学習カード等を活用し、お互いに助言や教え合う姿勢を育てよう。

2. 学習の方法

1 授業の受け方

○服装

- 体育着（半袖・短パン）。ジャージの着用は各自で判断。
- ハチマキを必ず着用。（教室で付けてくる）
- 靴下は学校の規定通り。部活用（サッカーソックス等）は不可。
- シャツの裾は、短パンの中に入れる。袖を折らない。
- 腰パンをしてはいけない。
- ジャージは貸し借りしない。
- インナー、タイツは可とするが、タイツの上から靴下を着用する。授業中の着脱は行わないよう、気温を考えて着てくること。

○髪の毛

- 肩にかかる場合はゴムでとめ、運動の邪魔にならないようにする。ゴムの色は、黒、紺、茶とする。ゴムを手首につけない。

○つめ

- 安全のために、短く切り、毎授業必ず各自で点検する。
- 常に清潔を保ち、長く伸ばさない。

○靴

- 上履きのかかとは、絶対につぶさないこと。
- 外履きは、運動に適したものとする。（ハイカット等は禁止）

2 学習の仕方

○集団行動

- 集合、整列は素早く行う。
- 集団走、準備運動、号令、あいさつなどの声を出すときは元気よく。
- 授業終了時の移動、着替えは素早く行う。
- 体育委員の指示をよく聞き、自分のことよりもまず全体を優先させる。

○集中

- 集中して指示を聞き、集中して活動する。

○全力

- 全力で活動し、全力で楽しむ。

○協力

- 協力して用具の出し入れを行う。
- 安全に気をつけながら、協力して活動する。

3 見学の仕方

- 保護者に、生徒手帳に見学理由を明記してもらい、押印またはサインをしてもらう。
- 朝、体育委員に知らせた後、担当体育科教員に連絡する。
- 体育時の服装で見学。風邪、ケガ等でジャージ着用を希望する場合は、見学申し込みの際に許可を得ること。
- 見学でも、できる活動には参加し、レポート等の課題に取り組む。

4 テストについて

- 実技のテストは、單元ごとに必要な場合は実施する。
- ペーパーテストは、学期末におこなう。
- 試験範囲は、基本的に授業で配布されたプリント、説明、実技の教科書の内容から出題される。

5 その他

- 時間厳守。絶対に遅れない。
- 「ステップアップ中学体育（体育実技の教科書）」「新しい保健体育（保健の教科書）」、ファイルは、各クラス教室で保管する。

3. 学習の内容

【第1学年】(年間116時間)	【第2学年】(年間115時間)	【第3学年】(年間105時間)
【体育分野】 ・体育理論 ・体づくり運動 ・球技 ・器械運動 ・水泳 ・陸上（長距離走を含む） ・武道 ・ダンス 【保健分野】 ・健康な生活と疾病の予防 ・心身の機能の発達と心の健康 ・AED 実習	【体育分野】 ・体育理論 ・体づくり運動 ・球技 ・器械運動 ・水泳 ・陸上（長距離走を含む） ・武道 ・ダンス 【保健分野】 ・健康な生活と疾病の予防 ・傷害の防止 ・AED 実習	【体育分野】 ・体育理論 ・体づくり運動 ・球技 ・器械運動 ・水泳 ・陸上（長距離走を含む） ・武道 ・ダンス 【保健分野】 ・健康な生活と疾病の予防 ・健康と環境 ・AED 実習

4. 評価について

(1) 評価の観点

①保健体育的な知識・技能

基本的な知識を身につけているか、基本的事項が理解されているかを見ます。

また、運動の特性を理解し、正しい身体の動かし方をしているかを見ます。

②保健体育的な思考・判断・表現

さまざまな見方や考え方ができ、公正に判断して、適切に表現できるかを見ます。

③保健体育の主体的に学習に取り組む態度

保健体育への関心が高く、意欲的な姿勢で活発に取り組んでいるかを見ます。

(2) 評価の仕方

3観点をそれぞれA・B・Cの3段階で評価し、これに基づき5・4・3・2・1の5段階で評価します。

(3) 具体的な評価の方法

授業態度や発言の様子、提出物、定期テスト、忘れ物等を組み合わせて評価します。

【 技術・家庭科 】

1 学習の目標

〔技術分野〕では、ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する知識及び技術を習得し、技術を適切に活用できるようになる。

〔家庭分野〕では、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を身につけよう。また、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする力や態度を身につけよう。

2 学習の方法

技術・家庭科は、自分の生活に関係のあることを学ぶ教科です。ですから、ふだんから次のことが必要です。「自分の生活に興味、疑問をもつ」それについて「考える」そして「やってみる」そしてさらに大切なのは「経験を次に活かす（実際生活で実践する）こと」

そうやって、授業で学んだことを自分のモノにしていくようにしましょう。きっと、将来みなさんの生活を豊かなものにしてくれると思います。

3 評価について

技術分野と家庭分野を合わせて評価を出します（各学期同割合です）。

定期テストはそれぞれ50点ずつの合計100点です。

以下の3つの観点にもとづいて学習および評価します。□は具体的な評価の拠り所の例です。観点別評価項目の比重は学年、学期、学習内容等で変わる場合があります。

〔知識・技能〕

- プリント・ワークシート □定期テスト・実技テスト □製作品
- 作業の様子（用具、道具等の正しい使用・操作等）

〔思考・判断・表現〕

- 製作計画表（計画的な学習や実習・能率的な作業）、製作品
- プリント・学習記録表（学習カード） □観察の記録（意見・作業・実習の様子）
- 調べ学習レポート □定期テスト・実技テスト

〔主体的に学習に取り組む態度〕

- プリントやノートの記入 □観察の記録（出席・作業・実習の様子）
- 製作品や課題、実習の取り組み状況（提出・進行状況・完成）
- 自己評価・相互評価・学習記録表（学習カード）の記入
- 学習に向かう姿勢や発言の内容 □作品等への創意工夫、日常生活への応用

4 学習の内容（季節等の条件で、前後が入れ替わることがあります）

〔技術分野〕

<第1学年>・・・年間35時間

単元（教材）	学 習 内 容
G ガイダンス	○技術科の授業とその内容について
A 材料と加工に関する技術	1 ものづくりの進め方、材料の特徴、設計の進め方 2 木材による製作、製作による反省と評価
B 生物育成の技術	1 生物の分類・育種及び生理・生態の特性 2 生育に適切な手入れの仕方と適切な管理 3 生育させるために適した手入れの仕方
D 情報に関する技術	1 コンピュータの利用の仕方 2 コンピュータを利用した簡単な作品の制作 3 制作による反省と評価 4 情報社会について

<第2学年>・・・年間35時間

単元（教材）	学 習 内 容
C エネルギー変換に関する技術	1 エネルギー変換について 2 電気機器について（安全な利用と保守点検） 3 電気機器の設計と製作 （手回し発電機付ラジオ） 製作による反省と評価
D 情報に関する技術	1 コンピュータの利用の仕方、情報モラルについて 2 コンピュータを利用した簡単な作品の制作と発表 （プログラムを利用して） 3 制作による反省と評価 4 情報社会について

<第3学年>・・・年間17.5時間

単元（教材）	学 習 内 容
D 情報に関する技術	1 双方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決について 2 プログラムの設計について 3 構想したプログラムを、安全・適切に制作することができる。プログラムの制作について

〔家庭分野〕

＜第1学年＞・・・年間35時間

単元（教材）	学 習 内 容
■オリエンテーション I わたしたちの成長と家族や家庭生活 II 衣生活 （III 環境と資源） IV 住生活	☐ 家庭科の授業とその内容について 1 わたしの成長と家族・家庭生活 1 目的に応じた衣服の選択 （1）日常着の活用 （2）日常着の手入れ （3）持続可能な衣生活 2 生活を豊かにするものをつくる【トートバッグの製作】 ☐ 環境に配慮した生活 （1）水と生活との関わり （2）暮らし方を見直す 1 住居の機能と安全な住まい方 （1）住まいのはたらきとこちよさ （2）安全な住まいで安心な暮らし （3）持続可能な住生活

＜第2学年＞・・・年間35時間

単元（教材）	学 習 内 容
I 食生活 II 消費生活・環境	1 食事の役割と中学生の栄養の特徴 2 中学生に必要な栄養を満たす食事 （1）中学生の発達と必要な栄養 （2）さまざまな食品とその選択 （3）日常食の調理 3 日常食の調理と地域の食文化 ※調理実習は安全を考え時期を考えて実施する予定です。よって下記の学習内容と入れかえることがあります。 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会

＜第3学年＞・・・年間17.5時間

単元（教材）	学 習 内 容
I 中学生になるまで 子どもの成長 幼児との交流 赤ちゃん・幼児触れ合い体験 II わたしと家族・家庭と地域	☐ わたしの成長と家族や周囲の人びと 1 幼児の成長 （1）体の発達 （2）心の発達 （3）生活習慣 2 幼児と遊び （1）遊びの中で育つ （2）遊びと発達 （3）いろいろな遊び 【幼児と遊べる技術の獲得】 3 幼児の生活に役立つものをつくる （1）遊び道具の製作 （2）幼稚園に行ってみる 1 家庭生活と地域のかかわり （1）多様な人びとが暮らす地域 （2）高齢者とのかかわり

南浦和中学校 1 年 グローバル・スタディ科 シラバス

学 習 到 達 目 標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

学期	課	題材	学習内容
1 学期	0	Get Ready1~4 Get Ready5/6 Get Ready番外編	小学校で学んだ英語表現を確認する。 アルファベットの形、つづり字、発音を確認する。/語順を理解する。 英語の単語や分の書き方を理解し、英文を書く。
	1	友だちを作ろう	be動詞を用いて自分の好みなどについてやりとりする。
	ST1	発表上手になろう	伝えたい内容が伝わるように自己紹介を発表する。
	2	1-Bの生徒たち アクションコーナー	一般動詞を用いて友だちにインタビューする。 命令文の表現を用いてやりとりする。
	3	タレントショーを開こう	canを用いて自分のできることとできないことについてやりとりする。
	ST2	考えを整理し、表現しよう	自分の好きなことについて発表する。
	OP1	あなたの知らない私	相手にわかりやすく自己紹介をする。
	PU1	ハンバーガーショップへ行こう	店での注文の仕方や表現を用いてやりとりする。
2 学期	4	Let's Enjoy Japanese Food.	This/That is～、代名詞を用いて日本のものなどについて発表する。
	5	Pajama Day	三人称の主語を用いて学校の先生や行事を紹介する。
	PU2	持ち主をたずねよう	which、whoseを用いて、持ち主についてやりとりする。
	6	The Way to School	代名詞を用いた文の構造を理解し、好きな映画を相手に紹介する。
	ST3	話の組み立て方を考えよう	わかりやすい構成を考えながら、あるトピックについて発表する。
	7	Research on Australia	There is/are～ /How can we～?を用いて日本文化について紹介する。
	PU3	学校案内をしよう	学校案内のやりとりをする。
	ST4	聞き上手になろう	発表者が話しやすくなる話の聞き方で発表を聞く。
	OP2	この人を知っていますか	自分の好きな人についてスピーチをする。
3 学期	8	Happy New Year!	現在進行形を用いて世界の祭りの様子について発表する。
	PU4	ショッピングをしよう	店内放送を聞いて、その内容を理解する。
	9	A Trip to Finland	一般動詞の過去形を用いて自分の経験に基づいて手紙を書く。
	ST5	発表用メモを活用しよう	作成した発表用メモを頼りにしながら発表する。
	PU5	インタビューを聞こう	インタビューに必要な表現を理解する。
	OP3	私が選んだ1枚	自分が選んだ写真や絵について論理的にスピーチする。
	10	Grandma Baba's Warming Ideas!	be動詞、不規則動詞の過去形を用いて英語劇を発表する。
	ST6	絵や写真を英語で表現しよう	There is/are～や現在進行形を用いて、絵や写真について説明する。
	PU6	絵はがきを書こう	自分の近況について海外の人に対して絵はがきを書く。

5 領域 3 観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
観 点	主 な 評 価 方 法				
知識・技能	・定期テスト・授業内アクティビティ・リスニング・パフォーマンステスト・単語テスト など				
思考・判断・表現	・定期テスト ・英作文 ・作品の制作 ・授業内アクティビティ ・リスニング ・パフォーマンステスト など				
主体的に学習に取り組む態度	・授業内での発言や積極性 ・授業内アクティビティ ・プリント等での記述や振り返り ・パフォーマンステスト など				

南浦和中学校 2 年 グローバル・スタディ科 シラバス

学 習 到 達 目 標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

学期	課	題材	学習内容
1 学期	1	New Start	体験学習プランについて、未来表現や動名詞などを用いて意見を伝える。
	ST1	簡単な表現で言い換えよう	言い方がわからない単語を自分の知っている単語で言い換える。
	2	Koshien Project in Africa	接続詞ifやwhenの文を用いて表現する。
	PU1	天気予報をきこう/ 電話をかけよう	天気予報を聞き取る。
	ST2	魅力を伝えるためのコツを知ろう	魅力を効果的に伝えるためのコツを知る。
	3	Taste of Culture	不定詞を使って各国の食べ物を紹介する。
	OP4	海外でヒットするラーメンのCMを作ろう	ラーメンの魅力が相手に伝わるように、プレゼンテーションを行う。
	R1	The Three Dolls	おすすめするストーリーの概要を伝えるポップカードを書く。
2 学期	PU2	電話をかけよう	ある状況を想定しながら、電話のやり取りをする。
	4	Leave Only Footprints	身近な環境問題について、自分たちが取り組むべきことについて整理し、must, mustn'tの助動詞などを用いて伝える。
	PU3	レストランで食事をしよう	ある状況を設定して、レストランでのやり取りを行う。
	ST3	わかりやすい見出しをつけよう	パンフレットやポスターにわかりやすい見出しをつける。
	5	Work Experience	職業体験や将来の夢について疑問詞＋不定詞 / look 形容詞 / SVOOを使ってスピーチする。
	6	High-Tech Nature	環境問題への取組について、比較の表現を用いて、自分の意見を述べる。
	PU4	メールで近況報告をしよう	メールの内容や構成を確認し、近況を報告するメールを英語で書く。
	ST4	相手にわかりやすい説明をしよう	相手が知らない事柄についてわかりやすく説明する。
3 学期	OP5	日本のおすすめスポットを紹介しよう	既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、ポスターを作成する。
	R2	Writing a Report	読んだ記事を読み手にわかりやすくまとめる。
	7	Unique Animals	比較級・最上級 (like-better / the best) の文を用いて意見を伝える。
	8	A Hope for Lasting Peace	学校のことについて現在完了形を使ってディスカッションを行う。
	PU5	飛行機のアナウンスを聞こう	空港のアナウンスを聞いて、確認をする。
	ST5	説得力のある説明をしよう	定められたテーマについて、事実や自分の考えを整理し、説得力のある主張の表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
	OP6	My Heroの魅力を伝えよう	自分が尊敬する人物についてのスピーチ原稿を書く。
	R3	Apollo 13	さいたま市にまつわるストーリーを読んで話の概要を捉え、紹介文を書く。
	RS	Reading Steps	物語や説明文を読んで、自分の考えを書く。

5 領域 3 観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
観 点	主 な 評 価 方 法				
知識・技能	・ 定期テスト ・ 授業内アクティビティ ・ リスニング ・ パフォーマンステスト など				
思考・判断・表現	・ 定期テスト ・ 英作文 ・ 作品の制作 ・ 授業内アクティビティ ・ リスニング ・ パフォーマンステスト など				
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業内での発言や積極性 ・ 授業内アクティビティ ・ プリント等での記述や振り返り ・ パフォーマンステスト など				

南浦和中学校3年 グローバル・スタディ科 シラバス

学習到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

学 期	課	題材	学習内容
1 学 期	1	Japanese Bentos Are Interesting!	日本の学校文化について、It + is/was + 〃 (+ for 〃) + to不定詞、ask/want 〃 to不定詞や現在完了形（経験）を用いて紹介する。
	2	Good Night. Sleep Tight.	現在完了形（完了、継続）、現在完了進行形を用いて地域に住む外国人の方に、おすすめの健康法を紹介する。
	St1	聞き上手になろう	話題を広げるための質問やコメントの仕方について知る。
	St2	ポスターセッションの流れを理解しよう	ポスターセッションの流れを確認する。
	3+OP7	A Hot Sport Today	主語＋動詞＋目的語＋補語や主語＋動詞＋目的語＋動詞の原形などを用いてIOC（国際オリンピック委員会）に、次の新しいオリンピック種目を提案する。
	PU1	電車の乗りかえ案内をしよう	路線図を見ながら、たずねられた目的地への道案内（電車の乗りかえ案内）をする。
	R1	Meaning of Life	教科書「Meaning of Life」と自分がおすすめしたい本やストーリーを読んで、話の要点やおすすめポイントを整理してブックレポートを書く。
	ST3	ディスカッションの流れを確認しよう	ディスカッションの流れを確認し、ミニディスカッションを行う。
2 学 期	4	Sign Languages, Not Just Gestures!	現在分詞や過去分詞の後置修飾や間接疑問文を用いて伝えたり、相手の質問に答えたりする
	5	The Story of Chocolate	関係代名詞（主格）の文を用いて伝えたり、相手からの質問に対して答えたりする
		ポスターから情報を読み取ろう	自分の考えや気持ちをポスターから読み取った情報とともに伝えたりする。
	PU2	ディスカッションで使う表現をおさえよう	ディスカッションで使う表現の意味や働きの理解をもとに、自分の意見を主張したり、相手の意見に賛成〔反対〕したりする。
	ST4		
	6	The Great Pacific Garbage Patch	関係代名詞の目的格（which/ that/ 省略）を用いて事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に対して答えたりする。
	OP8	レストランにSDGsの取り組みを提案しよう	レストランに合ったSDGsの取り組みを提案するために、ディスカッションをし、結論を導く。
	PU 3	ラジオのCMを聞こう	ラジオから流れるさまざまな情報を聞き、聞き取った表現を活用して商品をおすすめる。
3 学 期	7	Robots Can Improve Quality of Life	仮定法過去if節やI wishを用いて、自分の考えていることやその理由などについて伝える。
	PU4	ウェブサイトで学校を紹介しよう	ウェブサイトの構成について知り、紹介文を書く。
	R2	Malala's Voice for the Future	ストーリーの内容を理解して、数文の英語でまとめ、自分の意見を含めてまとまりのある文章を書く。
	SP	中学校の思い出を残そう	中学校の思い出について、クラスやグループで内容や発表方法を考え、紹介する。
	FR1. 2. 3	A Birthday Present/ Ig Nobel Prize/ Nakamura Tetsu	物語や説明文などを読んで内容を理解し、自分の考えや感想を伝え合う。
	RS	Reading Steps	物語や説明文などを読んで自分のことや考え、知りたいことなどを表す。

5 領域 3 観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
観 点	主 な 評 価 方 法				
知識・技能	・ 定期テスト ・ 授業内アクティビティ ・ リスニング ・ パフォーマンステスト など				
思考・判断・表現	・ 定期テスト ・ 英作文 ・ 作品の制作 ・ 授業内アクティビティ ・ リスニング ・ パフォーマンステスト など				
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業内での発言や積極性 ・ 授業内アクティビティ ・ プリント等での記述や振り返り ・ パフォーマンステスト など				